

季節風

2016. 8. 15

特別号

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

「終戦の日」に寄せて

今日は、「終戦の日」です。多くの人の命を奪い、生活を破壊し、希望を、未来を奪った戦争が終わった日です（終戦の日については、9月2日などの説もあります）。「終戦の日」は二度と悲惨な戦争を繰り返さないこと、そして、平和な世界を創り出すことを一人ひとりが決意する日です。しかし、今現在も、世界のどこかで戦争が行われています。私たちにできることは、小さなことかもしれませんが、それでも一人ひとりが、自分にできることについて考え、行動することできると大きな平和へのうねりを創り出せるはずです。身近ないじめや差別を見抜き、それらを許さない、それらと戦う勇氣を持つことなど、自分でできることを考える一日

にしたいものです。

以下に、ユネスコ憲章前文の抜粋とリオデジャネイロオリンピック開会式でのスピーチを掲載します。自分にできることを考えるヒントになれば幸いです。

国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）前文

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならぬ神聖な義務である。

キプチョゲ・ケイノ氏 （オリンピック栄誉賞受賞）

この五輪名誉賞を初めてもらい、光栄に思います。私とともに、すべての若者達が人権を得ることができるよう、食料、住む場所、教育が得られるように、私と一緒に取り組んでください。

教育は若者の力を支えるだけでなく、より良い市民を育て、前向きな変革を起こし、より良い世界をつくれます。

私たちは何も持たずに生まれ、何も持たずに死んでいきます。

しかし、教育は武器になります。それは何も破壊しない武器です。そして、平和を創り出す武器です。

教育によって、教育を通して、未来の人類を育てていくのです。

国際オリンピック委員会（IOC）のトーマス・バッハ会長

私たちは危機と不信に溢れた不確実な世界に生きています。しかし、五輪が示す答えとは次のようなものです。世界最高の一万人のアスリートたちが互いに競いながらも、選手村で平和に過ごし、食事も気持ちよく分かち合っています。この五輪の世界では、すべての人に一つの普遍的な法則が適用されます。それは、みな

が平等ということです。五輪の世界での人類共通の価値は、私たちが分断しようとする力よりも強いのです。そこで五輪選手にこう呼びかけたい。「自分自身を大切に、お互

いを尊敬しあい、五輪の価値を尊重してほしい」と。これらの価値が五輪を比類なきものになっているのです。

私たちの住む世界では利己主義が幅を効かせ、一部の人が他者より優れていると主張しています。しかし五輪が示す答えは、そのようなものではないのです。だからこそ、五輪の連帯の精神にもとづき、大いなる敬意を以て難民五輪選手団を歓迎するのである。難民選手の方々、みなさんは世界中の何百万人という難民たちに希望のメッセージを送っているのです。

みなさんは、暴力や饑餓、あるいは単に他者とは違うという理由で故郷を離れざるを得ませんでした。しかし、素晴らしい才能と精神によって、今は、社会に偉大な貢献をしています。五輪の世界は、単に多様性を受け入れるだけではなく、みなさんを多様性における結束をより豊かにしてくれる存在として受け入れ

ます。

世界にはさまざまな方法の貢献があります。そして、今日ここには、スポーツを通じて世界をより素晴らしいものにしようとする何百万人の人々がいます。このようなスポーツを通じて人類に貢献している素晴らしい人々を讃えるため、IOCは五輪名誉賞を創設し、今回、最初の受賞者が選ばれました。

現在76歳。1968年のメキシコオリンピック、1500mでケニア初の金メダルを獲得した歴史的な人物。1964年の東京オリンピックにも出場。

引退後は、孤児のための慈善団体を運営。ケニアオリンピック委員会会長。